

楽天証券、「楽天FX」取引 5通貨ペアのспレッドを縮小 - 主要 21 通貨ペアが大手ネット証券最狭水準に！ -

楽天証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：楠 雄治、以下「楽天証券」）は、本日、2022年4月4日（月）取引開始時より、「楽天FX」における「豪ドル／円」をはじめ、5通貨ペアのспレッドを大幅縮小したことをお知らせします。これにより、主要 21 通貨ペアの通常спレッドが、大手ネット証券最狭水準*になります。

楽天証券は、お客様により安心・安全な環境でコストを抑えたFX取引をおこなっていただくため、随時спレッドの見直しやキャンペーンを実施し、業界最狭水準通貨ペアをより多く提供できるよう、日々取り組んでいます。このたび、かねてより多くのお客様からいただいていたご要望にお応えするべく、人気の5通貨ペアにおいて、通常спレッドを縮小しました。

楽天証券は、総合証券会社の強みを活かし、証券・商品CFDやバイナリーオプション「らくオプ」など、FXに限らず、さまざまな店頭デリバティブ商品を提供しています。引き続き、お客様のニーズに即し、魅力あるサービスや商品を提供することで、さらなる顧客基盤の拡大を図るとともに、「資産づくりの伴走者」として、お客様の資産形成・投資活動に貢献してまいります。

■ 「楽天FX」5通貨ペア 新спレッド 概要 （原則固定、例外あり）

通貨ペア	従来のспレッド	2022年4月4日（月） 6時10分以降のспレッド
豪ドル／円 (AUD／JPY)	0.7 銭	0.6 銭
ユーロ／スイスフラン (EUR／CHF)	1.8pips	1.6pips
豪ドル／スイスフラン (AUD／CHF)	7.0pips	2.4pips
ニュージーランドドル／スイスフラン (NZD／CHF)	8.0pips	2.8pips
豪ドル／ニュージーランドドル (AUD／NZD)	12.0pips	2.8pips

詳細はこちらをご覧ください：<https://www.rakuten-sec.co.jp/web/info/info20220404-01.html>

※：楽天証券で取り扱う全 28 通貨ペアの通常スプレッドについて、大手ネット証券（口座上位 6 社：au カブコム証券、SBI 証券、GMO クリック証券、松井証券、マネックス証券、楽天証券（五十音順））で比較（2022 年 4 月 4 日、楽天証券調べ）

詳細はこちらをご覧ください：

https://www.rakuten-sec.co.jp/web/fx/charm/commission.html?sclid=o_OV_brand_op_fx

【スプレッドの例外について】

通常時は上記スプレッドでお取引いただけますが、為替市場における取引高の低下又は売買が一方向に集中しているなどの状況においてはスプレッドが広がる場合があります。また、広告表示の値は実際の取引時のスプレッドを保証するものではなく、お客様の約定結果による実質的なスプレッドが広告表示の値と合致しない場合がありますのでご注意ください。なお、スプレッドの拡大は、以下のような状況において発生する場合があります。

- ・平日早朝時（概ね 6 時 30 分～7 時 30 分 *サマータイム期間中は一時間繰り上がります）
- ・国内外の金融市場休場日（海外のクリスマス休暇や年末年始など）
- ・主要経済指標の発表前後
- ・震災などの天変地異や政変又は金融・経済関連の重大な出来事などの突発事象の発生時

以上

【手数料等およびリスクの説明について】

楽天証券の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページに記載されている内容や契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

商号等：楽天証券株式会社（[楽天証券ホームページ](#)）

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第 195 号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会